



## ナパヴァレーのワイン産業の概要

### ナパヴァレーのアペレーション

- 米国国内でも大変有名なナパヴァレーAVA(アメリカ政府公認葡萄栽培地域)ですが、広さの面では世界的に見ても最も小規模でありながら、非常に多様性に富んだワイン生産地の一つです。
  - カリフォルニアで収穫されるワイン用ぶどうのうち、ナパヴァレー産のぶどうが占めるのはわずか 4% です。
  - ナパ郡の面積 504,450 エーカー (204,000 ヘクタール)のうち、ぶどう畑が占める割合はたったの 9%、45,000 エーカー (18,200 ヘクタール)にすぎません。
  - ナパヴァレーは乾燥した地中海性気候です。地上で地中海性気候に属する土地は全世界でたったの 2%で、ワイン用ぶどうの栽培に非常に適しています。
  - ナパヴァレーには 33 の土壌体系が存在し、その土壌の種類は 100 種類を超えます。ナパヴァレーの土地には世界の全土壌目の半数が存在しているのです。
  - ぶどう畑の標高も、海面と同じ高さの畑から海拔 2600 フィート(800 メートル)に位置する畑まで多岐にわたります。
  - また地勢もさまざまで、平地、標高の低いなだらかな傾斜の扇状地、細長い谷間、山間の急勾配の斜面と尾根、高原などがあります。
  - ナパヴァレーAVAの中にはさらに 16 の認定されたAVAが存在します。

### 環境におけるリーダーシップ

- グリーンベルト協定によると、ナパ郡のほぼ 90%が永久にまたは高いレベルで開発から守られています。
- 1968 年に成立したナパヴァレー農業用地保護法は、農業用地として用途を定めて土地を確保するという米国でも初の保護法で、現時点で約 32,000 エーカー (15,400 ヘクタール)の平地がこの法律によって保護されています。
- 70,000 エーカー (28,300 ヘクタール)以上の土地が、ナパ・グリーン認定地としてすでに認定されているか認定を申請中です。ナパ・グリーン認定地とはナパヴァレーの土地と環境保護に関する認定プログラムで、42,000 エーカー (17,000 ヘクタール)以上がすでに認定地として認められています。ぶどう畑全体で認定地が占める割合は 40%以上にのぼります。
- 55,000 エーカー (22,000 ヘクタール)以上の土地が保全地役権により永久に保護されています。これはナパ郡の土地面積の 10%にあたります。
- 700 万ケース以上のワインがナパ・グリーン認定ワイナリーで生産されています。

### 経済効果

- 地元ワイン産業と関連事業はナパ郡に年間 130 億ドルの経済効果をもたらし、全米ではなんと 500 億ドルもの経済効果を生み出しています。
- 地元のワイン産業はナパ郡では 46,000 の雇用を、全米では 303,000 の雇用を生み出しています。

### ワイナリー/生産者/NVV のメンバー

- ナパ郡には約 700 軒のぶどう栽培農家があります。
- ナパ郡には物理的に約 475 のワイナリーが存在し、1000 を超える異なるワインブランドを生産しています。
- NVV には 525 以上のワイナリーが加盟しており、そのうちの 81%がナパ郡のぶどう畑を所有しています。
- NVV 加盟ワイナリーのうち、ほぼ 80%が年間生産量 10,000 ケース未満、さらに 65%が年間生産量 5,000 ケース未満です。
- ナパヴァレーのワイナリーの 95%が家族経営です。

### 慈善事業への寄付

- ナパヴァレー・ヴィンテナーズは毎年オークション・ナパヴァレーを開催して地元のために資金を集め、1981 年の開始以来、累計で 1 億 5 千万ドル以上を地元の非営利団体に寄付してきました。地域にとって最も有効な活用方法を考え、集めた資金は住民の予防医療や児童教育の早期介入に携わる非営利団体に寄付しています。オークション・ナパヴァレーの目的は、アメリカン・キャニオンからカリスタガにおよぶナパ郡のコミュニティを強化することです。

ナパヴァレーのワイン産業に関する詳しい情報は、[napavintners.com](http://napavintners.com)(英語)または [napawine.jp](http://napawine.jp)(日本語)をご覧ください。